

## 新型コロナウイルス感染症のモニタリング状況

### 1 モニタリング状況（参考数値）

集計期間：令和3年1月4日（月）～1月10日（日）

	指標	数値	前週	目安基準
(1)	直近1週間の新規陽性者数	1123人	541人	—
(2)	直近1週間の人口10万人当たりの累積新規陽性者数 (陽性者数/(153万人/10万人))	73.40人	35.36人	2.5人未満 (※1)
(3)	週当たりの陽性者増加比 (当該週の陽性者数/前週の陽性者数)	2.08	1.06	<1(※2)
(4)	直近1週間の感染経路不明者の割合 (感染経路不明者数/陽性者数)	52%	61%	50%未満 (※3)
(5)	直近1週間の陽性率(※4) (陽性者数/検査実施人数)	19.16%	22.82%	—
(6)	入院中の患者数(※5) (疑似症患者を含む)	170人	140人	感染症患者受入病床 263床
(7)	入院中の患者のうち重症者数(※5) (疑似症患者を含む)	31人	18人	重症病床 30床
(8)	全療養者数(※5)(入院中、宿泊療養及び自宅療養者合計(疑似症患者は含まない))	1980人	1195人	—

これらの数値は、速報値として公表するものです。

※1 神奈川県警戒アラート指標の基準を準用

※2 新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言（新型コロナウイルス感染症対策専門家会議「緊急事態措置の解除の考え方」）より引用

※3 神奈川県の再警戒モニタリング指標の基準を準用  
(再警戒基準：新規陽性者数が10人以上の時、50%以上)

※4 健康安全研究所及び民間検査機関による検査実績から算出（本市発表外陽性者も含む）

※5 1月10日(日)現在の報告数（前週分は、1月3日(日)現在の報告数）

### 2 評価

令和3年1月4日（月）～1月10日（日）の川崎市内におけるモニタリング状況は、(1) 新規陽性者数は前週の541人から1123人（前々々週405人、前々週508人、前週541人）となり、いったん増加が鈍った前週から、今週はほぼ倍増しました。

(2) 直近1週間の人口10万人当たりの累積新規陽性者数は、前々々週26.47人、

前々週 33.20 人、前週 35.36 人から今週 73.40 人と急増しました。

(3) 週当たりの陽性者増加比は、前々々週 1.33、前々週 1.25、前週 1.06 と一旦低下したものが、今週は 2.08 と倍増しました。

(4) 直近 1 週間の感染経路不明者の割合は、前々々週 39%から前々週 46%。前週 61%でしたが、今週は 52%と低下し、目安基準の 50%に近づきました。

(5) 直近 1 週間の検査陽性率は、前々々週 8.72%、前々週 8.58%であったものが、前週は 22.82%と急増。今週は 19.16%とやや低下したものの高値となっています。

(6) 入院中患者数は前々々週 116 人、前々週 111 人から、前週は 140 人と増加し、今週は 170 人とさらに増加しています。

(7) 入院中患者のうち重症者数は、前々々週 11 人、前々週 14 人、前週 18 人から今週は 31 人とさらに増加しました。

(8) 全療養者数（入院中、宿泊療養及び自宅療養者合計）は前々々週 692 人から前々週 1136 人と急増。前週は 1195 人とやや増加が鈍りましたが、今週は 1980 人と再び急増しました。

(1) 全体の新規感染者数、(2) 直近 1 週間の人口 10 万人当たりの累積新規陽性者数、(3) 週当たりの陽性者増加比は、いずれも大幅な増加。(4) 直近 1 週間の感染経路不明者の割合、(5) 直近 1 週間の検査陽性率は、やや減少しました。

(6) 入院中の患者数、(7) 重症患者数、(8) 全療養者数はいずれも増加しています。

なお、感染症患者受入病床は、他の病気での入院に使用している病床などを新型コロナ患者病床として転用できる病床ですので、ここが多く使用されると一般医療が縮小せざるを得ない状況となってきます。

川崎市内の感染者の状況は年末にかけて増加傾向にあり、特に前々週までに急増しましたが、前々週から前週にかけては増加の状況がいったん鈍くなりました。しかし、前週から今週にかけては感染者および入院数・療養者数の急増がみられています。幸い多くの方は軽症で経過観察可能となっていますが、入院中の重症者数も増加しております。重症者は、新型コロナにあてられた専用病床（30 床）だけではなく、集中治療室、救急室などにも入院されています。

感染者数の増加は明らかですが、年末年始期間の診療体制、検査体制の状況などから年明けに届け出が集中している可能性もあり、全体の評価にはもう 1 週間くらいの状況を見続ける必要があります。

緊急事態宣言が神奈川県を含み 1 都 3 県に発令されました。皆さま方には大変なご不便をおかけしますが、重症患者発生を少なくし、一般の医療が維持され、そして経済状況が続いてその後に回復できるよう、ご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。肝心なことは、引き続き三密を避ける、適切な距離が保てないなどの時はマスクをつける、手洗い・手指の消毒をこまめにするなど、日常生活における基本的な、そして重要な注意です。これらの何気ない注意が、感染者数を増やさないことひいては重症者数を減らすことに、大変役に立ちます。また感染を警戒するあまり家の中に閉じこもり切りになる必要はありませんが、どちらかへお出かけになるときは、混雑する場所や時間帯はできるだけ避けて、家族単位などの少人数で、ゆっくりと過ごされるようお願い

いたします。

なお、市内 61 か所のインフルエンザ定点から毎週報告を頂いているインフルエンザの発生動向につきましては、第 52 週（12 月 21 日～12 月 27 日）の発生報告は 0、第 53 週（12 月 28 日～1 月 3 日）は 2 でしたので、第 36 週（8 月 31 日～9 月 6 日）～2020 年第 53 週（12 月 28 日～1 月 3 日）の市内のインフルエンザ報告数は 3 に留まりました。